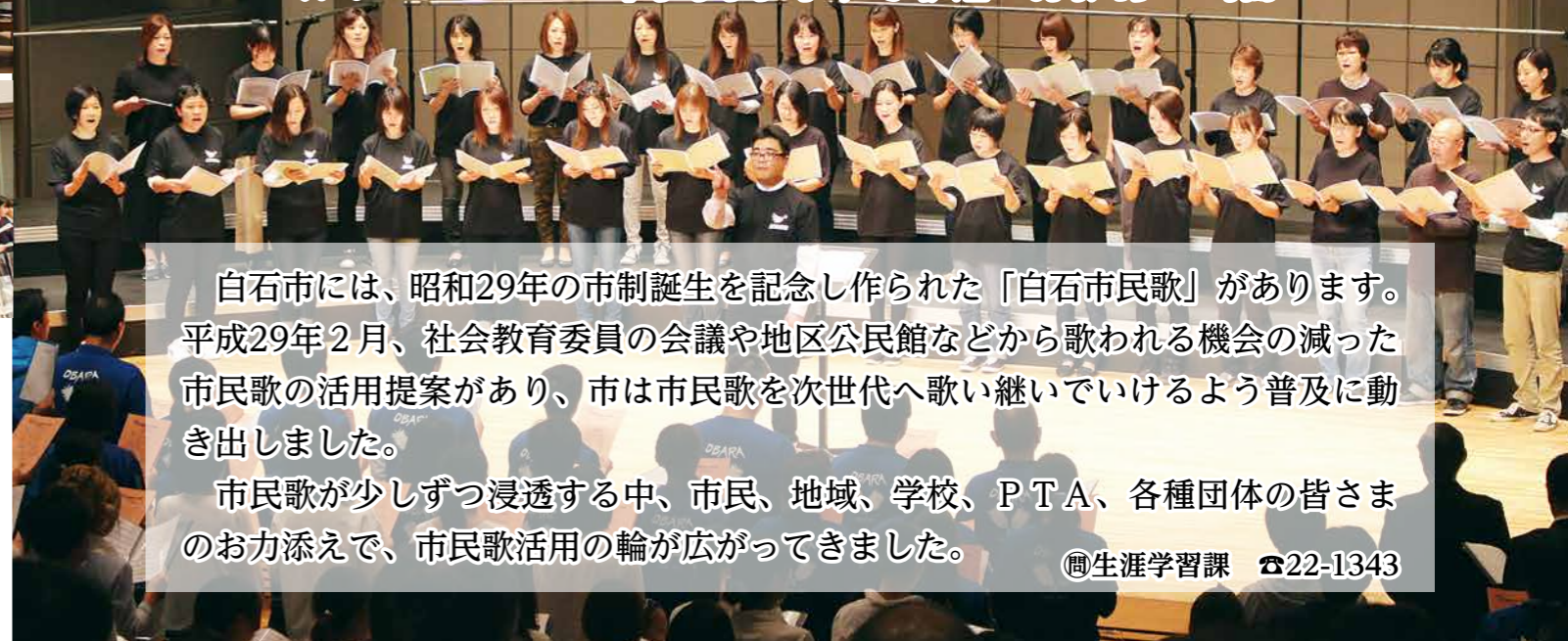




1_ 市民歌を合同演奏する白石中・東中・福岡中吹奏楽部の皆さん 2_ 開会式で市民歌を斉唱する小学生 3_ 閉会式で市民歌を斉唱する中学生

～市民、地域、学校など白石市に縁あるみんなの力で！～ 広がる！「白石市民歌」活用の輪



白石市には、昭和29年の市制誕生を記念し作られた「白石市民歌」があります。平成29年2月、社会教育委員の会議や地区公民館などから歌われる機会の減った市民歌の活用提案があり、市は市民歌を次世代へ歌い継いでいけるよう普及に動き出しました。

市民歌が少しずつ浸透する中、市民、地域、学校、PTA、各種団体の皆さまのお力添えで、市民歌活用の輪が広がってきました。

生涯学習課 ☎22-1343

▲「校歌を高らかに歌う集い」で市民歌を斉唱するPTA保護者たち

【学校・PTA編】

子どもが歌う♪ 白石市小・中学校音楽祭

市内小中学校の児童・生徒が集い行っている「小・中学校音楽祭」。午前の部の開会式では、小学生がピアノ伴奏にあわせて、午後の部の閉会式では、白石中・東中・福岡中吹奏楽部の合同演奏にあわせてそれぞれ市民歌を斉唱しました。

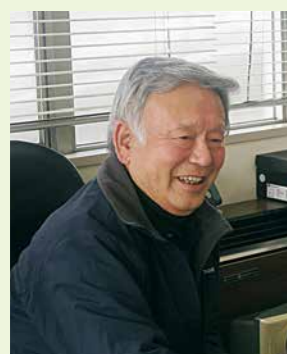
親が歌う♪ 校歌を高らかに歌う集い

第37回を迎え、各小中学校の保護者が集い、校歌と自由曲を歌う「校歌を高らかに歌う集い」。実行委員会で話し合い、開会式で歌う全体合唱曲に「白石市民歌」を選曲。保護者は声高らかに市民歌を斉唱しました。

【地域編】

市民歌を地域の行事で活用

越河公民館長 ふるやまだよし 古山忠喜さん



越河公民館では、体育大会や敬老会、公民館まつりなどの地区行事を活用し、市民歌の普及を行っています。私は市民歌を中学生の時に覚え、今でも歌うことができます。市民歌はテンポが良く、元気が湧いてくるような歌。笑顔あふれるまちづくりを目指している白石市にぴったりな歌と感じ、昨年2月、市に市民歌の活用を提案しました。越河地区でも行事があるごとに活用し、普及のお手伝いできればと思っています。

※この他、青少年のための白石市民会議、白石市体育協会、白石市子ども会育成会連合会、白石市文化協会、その他多数の団体でも市民歌活用の輪が広がっています。

市民歌作詞者のご家族へインタビュー

長男 まつのひろし 松野弘史さん



父・松野清四郎は白石市民歌の作詞をした当時、大学生で東京に住んでおり、故郷の白石が懐かしく、望郷の気持ちで作詞をしたと聞いたことがあります。

父は昨年3月に亡くなりましたが、ちょうどその頃から、父が作詞でかかわった市民歌の普及を市が行っていることを知り、家族として有り難く感じていました。歌が作られてから半世紀以上もたちますが、子や孫の世代まで歌い継がれることを願っています。

まつのせいしろう 故松野清四郎さん



時に歌には、力があります。その歌を聴いたり、口ずさんだりするだけで、懐かしい思い出や情景がよみがえることもあるのではないのでしょうか。白石市に縁あって共に暮らす市民の時代を超えた共通の歌として、郷土愛を育みながら「白石市民歌」を次世代へ歌い継いでいきましょう。

～郷土愛の願いを込めた市民歌を次世代へ 新たな取り組み紹介～

【行政編】

- ・小中学校へ市民歌CDを配布
- ・音域を下げた市民歌の楽譜作成と音源収録
- ・YouTubeへ市民歌動画を投稿
- ・市民歌CDを中央公民館と情報センターアテネで貸し出し実施
- ・「各種功労者表彰」や「新春を寿ぐ市民の集い」などの市行事で市民歌を斉唱



【市民編】

市民歌をアレンジ

さとうみさこ 佐藤美佐子さん

3月4日に行われた公民館まつりのオープニングで、シンガー・ソングライターの佐藤美佐子さんがピアノ弾き語りにアレンジした市民歌を披露。すてきな歌声が会場内に響き渡りました。

美佐子さんは「原曲は大切にしなければならないと思っています。市民歌普及のお手伝いになればと思い、私流に市民歌をアレンジしました」と話してくれました。



市民歌に振り付け

宝梅会

日本舞踊サークル宝梅会の講師若柳梅園先生。平成21年に市民歌に合わせた踊りの振り付けを考案。その後、市の敬老会などでも踊りを披露するなど市民歌の普及活動を行ってきました。

梅園先生は「白石市に、すてきな歌詞の詰まった市民歌があることを知り、広めなくてはと思いました。歌詞と曲を大切にしながら、元気らしさを表現できるような振り付けを考えました」と話してくれました。

